



① 扇形の器の「伊勢勝定食」(1,320円)はカツとしょうが焼きが同時に楽しめる看板メニュー。このボリュームでお財布に優しいのがうれしい
 ② 冬季限定「かきフライ」(単品890円/定食1,180円)。厳選した宮島産の牡蠣は味がよく、この時期を楽しみにしているファンも多い
 ③ 当店オリジナルのドレッシング。左から「ごまみそ」「マヨネーズタイプ」「ゆずみそ」3種類の味からどうぞ♪
 ④ 奥さま・美紀さん作のPOP。「お持ち帰りもOKですよ!」

Information



伊勢勝 本店
 〒852-8145 長崎市昭和1-2-11
 ☎ 095-848-2021

伊勢勝 西友店
 〒852-8053 長崎市葉山1-6-10
 西友道ノ尾店2F
 ☎ 095-856-7009

営業時間
 <本店> 11:00~21:30 (L.O.21:00)
 <西友店> 10:30~21:00 (L.O.20:15)

休業日
 <本店> 月曜日
 <西友店> 西友道ノ尾店の休業日に準じる

これぞ伊勢勝 こだわりの素材選び
 同店のメニューはなんと、すべて新鮮で手作りの家庭的な味。豚や海老などの材料は、堤さんが実際に試し、新鮮さや味わいがより優れたものを厳選して使用している。「例えば人気のエビフライ用の海老は獲れて間もない新鮮なものを仕入れ、多い日で300匹使用しますが、殻むきに始まり、すべて手作業で行ないます。創業時から変わらない味を提供するために」

豊 かな味を守る
 3年前、突然病に倒れた先代の後を継ぎ、経営者となった堤さん。「『生涯現役』が口癖だった義父の心は、常に『伊勢勝』にありました。いま私がすべきことは、『伊勢勝の味を守る』こと。そして、『質を落とすことなく、いつでも同じ味を提供し続けること』だと思っています。そのため」

多い日で約800人だったこともあり、さすがにその当時は「てんてこ舞いでしたね」。小さいお子さまからお年寄りまで幅広い年齢層の来客があるという同店。「要望も様々で、お客さまの声から生まれたメニューも数多くあります。カツや魚介類を組み合わせたミックスメニューは店舗によって違いがありますが、ぜひいろいろ食べ比べて、お好みのメニューを見つけてもらいたいですね」と話す堤さん。「おいしかったよ」と笑顔で帰っていくお客さまをみると「また頑張ろう」という思いが沸くんです」と笑みを浮かべる。

も一つ一つの手間は惜しみません」と胸を張る。同店のカツは、健康にも配慮したサラダ油と生パン粉でカラッと揚げており、年配の方からも食べやすいと好評だとか。「肉・魚介・野菜、それぞれの素材に合わせた手作りのソースをたっぷりつけて召し上がってください」。

また、同店のお楽しみのひとつなのが名物の『味噌汁』。創業当初から使っている島原の味噌をはじめ、具材も豆腐、わかめ、うすあげと家庭的でホッとさせる味がうれしい。「家でも、この味噌汁みたいに作りたいたい」との多くの声に応え、「ご家庭でも作れるよう味噌の販売も始めました」という人気ぶり。

も、若い料理人たちには粘り強くがんばってほしいですね。そのなかで出会う人や物事の大切さを身をもって感じてほしいし、それがわかる料理人に育てたい」

「またくるよ」と言ってくださる声を絶やさぬよう、私も体の続く限り長くがんばっていきたくですね」と力強く語ってくれた。

清潔感あふれる店内にはテーブル席のほか座敷やカウンターもあり、家族連れや女性でも気軽に立ち寄れます。ぜひ一度、伊勢勝の味をどうぞご賞味ください!



有限会社 伊勢勝
 代表取締役 堤 亮祐 さん



地元の人に愛され続けて40余年のとんかつ専門店

今回のがんばってますは、昔から変わらずそこに在って、どこか懐かしくホッとできる味を提供してくれる、今年で43周年を迎えるとんかつ屋・伊勢勝の堤亮祐さんをご紹介します。

伊勢勝のはじまり
 昭和50年1月、学校の多いこの昭和の土地に「若い人たちにカツをおなかいっぱい食べてもらいたい」と願いを込め同店は誕生した。

いまや地元では誰もが知る人気のとんかつ屋、開店当時から安価でボリュームたっぷり、定食目当てに学生やサラリーマンなどにぎわっていた。「大学時代から他県で生活し、卒業後は今はまったく違う仕事をしていましたが、妻との結婚を機に長崎に移り住み、創業者である義父に習い店を手伝うようになり、飲食業には携わったことがありませんでしたので、初めの頃は大変苦労したのを覚えています」と当時を振り返っては苦笑い。「現在では料理人として約30年経ちますが、家族の支えのもと、精いっぱい心を尽くして頑張ってきました」。

西友店の誕生

平成元年には2号店となる西友店(西友道ノ尾店内)がオープン。同店の店長を任された堤さん、「初めて店を任せられた私にとって試練の日々でした。なにせ当時の長崎ではまだショッピングセンターも珍しく、その西友さんの中の飲食店ということで、来客数が